

劣後債務と銀行行動

——バーゼルⅢの規制変更を用いた検証——

山田佳美

〈要旨〉

本稿の目的は、バーゼルⅢの規制変更が銀行行動に与える影響を実証的に分析することである。Difference-in-Differencesを用いた分析の結果、規制変更により既発の劣後債務が自己資本に不算入となる国内基準行において、劣後債務を多く発行していた銀行ほど、規制変更後に中小企業向け貸出に加えて、外国有価証券などから構成される「その他の証券」を減少させていることが分かった。さらに、劣後債務を劣後ローンと劣後債に細分化して検証した結果、劣後ローンを多く発行していた銀行は、中小企業向け貸出と「その他の証券」を減少させる一方で、劣後債を多く発行していた銀行は「その他の証券」のみを減少させていることが分かった。

(一橋大学)